



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月7日

上場会社名 株式会社マルイチ産商 上場取引所 名
 コード番号 8228 URL http://www.maruichi.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 平野 敏樹
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 企画・管理部門統括 (氏名) 清野 昌彦 TEL 026-285-4101
 代行
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	177,299	1.5	1,875	3.9	2,257	△0.2	1,486	2.2
2019年3月期第3四半期	174,650	2.8	1,805	△7.8	2,260	△6.5	1,454	△7.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,565百万円 (13.8%) 2019年3月期第3四半期 1,375百万円 (△23.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	67.40	—
2019年3月期第3四半期	65.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	69,878	22,570	31.6
2019年3月期	57,393	21,351	36.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 22,092百万円 2019年3月期 20,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	3.00	—	12.00	15.00
2020年3月期	—	3.00	—		
2020年3月期 (予想)				12.00	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	234,000	3.7	1,900	7.1	2,400	2.7	1,500	26.3	67.78

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	23,121,000株	2019年3月期	23,121,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,065,572株	2019年3月期	1,069,496株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	22,054,160株	2019年3月期3Q	22,158,817株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内景気は企業収益や雇用情勢の改善等を背景に緩やかな回復傾向が継続したものの、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題などから依然として先行き不透明な状況が続いております。当社の基盤商圏であります長野県におきましては、昨年10月の台風19号による経済活動等への影響が懸念されております。食品流通業界におきましては、生活者の節約志向が続く中、消費税増税による消費マインドへの影響や業種・業態の垣根を越えた競争激化、物流関連コストの上昇など、引き続き厳しい経営環境が続いております。

こうした環境下、当社グループでは当期を最終年度とする中期経営計画「変革2019～日本の中のマルイチを目指して～」の目標達成に向け、「成長戦略」「事業構造改革」「人の成長」をキーワードに戦略課題を推進しております。営業部門の重要戦略として「グループシナジー戦略」「重点得意先戦略」「全社物流戦略」を掲げ、各戦略を推進しております。事業構造改革につきましては、基幹システムの刷新に向けたプロジェクトを推進するなど経営基盤の再整備に全社を挙げて取り組んでおります。

以上のことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,772億99百万円（前年同期比1.5%増）となりました。利益面につきましては、物流関連コストが増加したものの売上高の増加による売上総利益の増加等により、営業利益18億75百万円（前年同期比3.9%増）、経常利益22億57百万円（同0.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益14億86百万円（同2.2%増）となりました。

[セグメント別の概況]

※ 各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高を除いて記載しております。

<水産事業セグメント>

水産部門はサンマやスルメイカが記録的な不漁となる中、最需要期の年末商戦において業務提携先との協業による養殖ブリの販売強化や、サーモンやマグロの拡売を進めるなど売上拡大を図りました。デパート部門では自社開発商品と得意先との開発商品を基軸とする販売戦略を展開しました。フードサービス部門では当社グループの水産原料の調達力を活かした商品開発と拡売を進めました。以上のことから、売上高につきましては1,039億72百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

利益面につきましては、国産天然魚の水揚げ量減少の影響と物流関連コストの上昇により、営業利益は7億58百万円（同16.9%減）となりました。

<一般食品事業セグメント>

長野県を中心とする基盤商圏における主要顧客との取組み強化による販売の深耕化と、自社開発商品の開発と拡売を進めたものの、消費税増税後の買い控え傾向の影響もあり、売上高につきましては228億3百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

利益面につきましては、仕入先との取組み強化による収益力の向上や、構内物流業務の生産性向上に向けた改善活動により、営業利益は1億98百万円（同15.5%増）となりました。

<畜産事業セグメント>

年末において相場状況が総じて軟調傾向で推移する中、和牛の販売が好調だったことや、当社グループの商品調達力と加工機能を活かした関東・東海・中京エリアへの販売拡大により、売上高につきましては262億72百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

利益面につきましては、販売拡大に伴う販売運賃等が増加したものの、売上拡大により売上総利益が増加したことから、営業利益は4億57百万円（同2.1%増）となりました。

<丸水長野県水グループセグメント>

水産事業において国産天然魚の水揚げ量の大幅な減少の影響を受けたものの、グループシナジー戦略の展開による冷食事業における市販用冷凍食品のマーケットシェアの拡大等により、売上高につきましては233億7百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

利益面につきましては、売上高の増加に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は4億25百万円（同101.5%増）となりました。

<その他（物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売及び保険代理店事業）>

子会社マルイチ・ロジスティクス・サービス(株)は、当社グループの物流業務・冷蔵倉庫事業の品質向上とローコスト体制の構築を、グループ内の各事業と連携しながら推進しております。

業績につきましては、売上高は9億41百万円（前年同期比7.6%減）、営業利益は36百万円（同41.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は698億78百万円となり、前連結会計年度末と比較して124億85百万円の増加となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が98億7百万円、商品及び製品が21億64百万円増加したことによります。

負債は473億7百万円となり、前連結会計年度末と比較して112億65百万円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が117億46百万円増加したことによります。

純資産合計は225億70百万円となり、前連結会計年度末と比較して12億19百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の36.5%から31.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日に発表しました業績予想に変更はありません。

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,095	10,190
受取手形及び売掛金	22,029	31,837
商品及び製品	5,127	7,292
仕掛品	12	7
原材料及び貯蔵品	193	226
その他	2,719	3,225
貸倒引当金	△57	△80
流動資産合計	40,121	52,700
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,099	3,034
土地	8,292	8,285
その他(純額)	881	977
有形固定資産合計	12,273	12,297
無形固定資産		
のれん	262	196
その他	94	247
無形固定資産合計	357	444
投資その他の資産		
投資有価証券	2,859	2,850
退職給付に係る資産	150	165
その他	1,895	1,645
貸倒引当金	△265	△226
投資その他の資産合計	4,640	4,435
固定資産合計	17,271	17,177
資産合計	57,393	69,878
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,621	38,368
短期借入金	1,258	1,222
1年内返済予定の長期借入金	370	280
未払法人税等	382	130
賞与引当金	635	315
資産除去債務	65	3
その他	3,782	4,379
流動負債合計	33,115	44,700
固定負債		
長期借入金	1,020	832
役員株式給付引当金	48	64
債務保証損失引当金	57	57
退職給付に係る負債	639	565
資産除去債務	61	62
その他	1,097	1,024
固定負債合計	2,925	2,607
負債合計	36,041	47,307

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,719	3,719
資本剰余金	3,387	3,388
利益剰余金	14,481	15,635
自己株式	△1,146	△1,143
株主資本合計	20,441	21,599
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	548	531
退職給付に係る調整累計額	△57	△39
その他の包括利益累計額合計	490	492
非支配株主持分	418	477
純資産合計	21,351	22,570
負債純資産合計	57,393	69,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	174,650	177,299
売上原価	155,712	158,014
売上総利益	18,938	19,284
販売費及び一般管理費	17,133	17,408
営業利益	1,805	1,875
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	85	95
受取賃貸料	262	170
その他	143	149
営業外収益合計	493	416
営業外費用		
支払利息	19	15
固定資産除却損	8	10
貸倒引当金繰入額	0	—
その他	8	9
営業外費用合計	38	35
経常利益	2,260	2,257
特別利益		
固定資産売却益	—	34
特別利益合計	—	34
税金等調整前四半期純利益	2,260	2,291
法人税、住民税及び事業税	630	495
法人税等調整額	138	233
法人税等合計	769	728
四半期純利益	1,491	1,563
非支配株主に帰属する四半期純利益	37	76
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,454	1,486

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,491	1,563
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△137	△16
退職給付に係る調整額	21	18
その他の包括利益合計	△116	1
四半期包括利益	1,375	1,565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,338	1,488
非支配株主に係る四半期包括利益	37	76

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	丸水長野 県水グル ープ	計				
売上高									
外部顧客への売上高	103,365	22,916	25,002	22,346	173,631	1,019	174,650	—	174,650
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,413	81	1,075	87	2,657	2,450	5,108	△5,108	—
計	104,779	22,998	26,077	22,433	176,289	3,470	179,759	△5,108	174,650
セグメント利益	913	171	447	211	1,743	62	1,805	—	1,805

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	丸水長野 県水グル ープ	計				
売上高									
外部顧客への売上高	103,972	22,803	26,272	23,307	176,357	941	177,299	—	177,299
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,302	68	1,172	67	2,610	2,539	5,149	△5,149	—
計	105,274	22,872	27,445	23,375	178,967	3,480	182,448	△5,149	177,299
セグメント利益	758	198	457	425	1,839	36	1,875	—	1,875

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。